

17 ご意見があればお書きください。

(学校に対する感想や意見)

- 校則の見直しが毎年行われており、すごく感謝しています。まだまだ時代に合っていない校則もたくさん残っていると思いますので、ブラック校則の見直しを徹底して行ってほしいです。よろしくお願いします。
- お世話になっております。ホームページで学校の様子がよく分かり、子供との会話に重宝しています。毎日となると先生も大変でしょうが、とてもありがたく思っています。
- 子供たちが生きていくこれからは、多様性の時代です。今まで通り型にハマた教育では、外れた子を容認する心は育ちませんし、外れてしまったときに疎外感を感じるようになるのではないのでしょうか？ たった3年間ですが、様々な子が通う公立中学校だからこそ、様々な価値観に触れ、許し、許される経験を積んで行ってほしいです。その中でしなやかな心を育ててほしいと感じます。私たち親も意識を持つ必要も感じます。先生任せにするつもりはありません。家庭・学校の共通認識を持ち子供に安心して生活を送ってほしいと思います。知識を引っ張り出すだけなら今や生成 AIの方がはるかに上の時代。こんな時代に求められるのは人間性や自主性だと思います。これから先、まだ見ぬ未来で戦っていく子供たちの為に、どうか教育の場が一辺倒な対応だけにならないようにお願いします。そのために必要なことや協力を私たち親にもお知らせください。

要望事項等

(校則に関する要望)

- 今年は去年以上に、前髪について厳しく言われているようで、困っています。髪型等の規則をもう少し緩くしてもらいたいです。
- 細かすぎる校則などにより、精神的な苦痛を受け、学校に行きたくないということにつながっているようです。
- 校則の見直しについて、2年前に校則検討委員会が設置され、一部の校則が緩和されるなどの一定の前進が見られていることに感謝します。一方、委員会で保護者の参加が確保されていないこと、また不合理な校則の課題につき議論し、必要なもの以外は撤廃するという方向には向かっておらず、むしろ「基準の明確化」との名目で、さらに細かいルール化が行われていることを懸念しています。
- 校則が何のためにあるのか。その背景には生徒を守り、健やかな学校生活を送るためなのであれば、なぜその校則が必要なのか、生徒・保護者にも共通認識として示してほしいと感じます。規則だけが独り歩きしないよう、一度立ち返っていただきたいです。
- 校則、身だしなみ検査について靴下のワンポイントはオッケーでラインはダメ、女子生徒の髪の毛を結ぶ位置など、細かな校則は必要ないのではと思ってしまう。多数ではないかもしれませんが、身だしなみ検査によって、苦痛を感じている生徒がいます。校則(身だしなみ検査も)は生徒を縛るためではなく、学ぶ権利を含む生徒の自由や人権を守るためにあるということを前提にしたものでなければならないはずです。
- いつもお世話になっております。私は本校の校則や校風は、今必要とされている教育、自分の考えや意見が言える、主体性、積極性を育む教育に反しているように思います。最近では、生徒が主体性を持って校則を変えるという取り組み(ルールメイキング)について取り上げられています。校則を変えていくということは、自分たちで社会を変えて行くという気持ちや、世の中は自分で変えられる、変えることができるという気付きを得る、とてもよい学びの機会だと思います。学校で身に付けるべき我慢する力とは「価値観の

違う人の意見も尊重する」とか「たとえ苦手な人とグループになっても協力して活動ができる」とか、多様性の社会で生きるために折り合いをつける力だと考えます。集団生活をしていく上でルールが必要であることは理解できます。ですが、そもそも学校には色々な子どもが集まるのに、ガッチリ校則で統一しようとするから無理な指導が生まれるのではないのでしょうか。細かいルールを増やすほど指導も増える。これでは悪循環です。今一度、ご再考ください。どうか、よろしく願いいたします。

(学校の回答)

◎ 校則に関しては、様々なご意見がありました。学校としては、校則は必要であると考えています。保護者の意見にも校則は必要ないと言われる方はいませんでした。要望としては時代に合った、生徒が納得できる校則を望まれていると解釈しております。本校では毎年校則の見直しを行っております。生徒と保護者にアンケートを取り、緊急性の高いものまたは改定の希望の多い内容について、検討するようにしています。その際、生徒代表の意見を聞きながら検討内容を決定し、その後各クラスで話し合う時間を持ち、臨時の生徒総会で意見を出し合う流れになっており、生徒の意見が十分反映されるように配慮しています。実際に靴や靴下の色については緩和されていますし、髪型に関しても生徒からの要望を取り入れ改善しています。今年もご家庭に校則検討に関するアンケートが届くと思いますので、親子で内子中の校則について話し合ってみてください。学校としてもきまりの必要性について説明し、理解いただけるように努めてまいります。

(身だしなみ検査に関する要望)

- 身だしなみ検査に関しては、いたずらに規則にとらわれて、規則を守らせることのみでの指導になっていないでしょうか。
- 身だしなみ検査が厳しいと思います。たかが身だしなみ検査かもしれませんが毎月苦痛を感じている子供がいる事も知っていただきたいです。楽しい筈の学校生活がこのような状況でとても悲しいです。昔の事を言っても仕方がないのは分かりますが、明らかに違反の子に声をかけるなどではダメなのでしょうか。

(学校の回答)

◎ 身だしなみ検査は毎月上旬に実施しています。頭髪など気になる生徒は早めに整えることは可能だと考えています。服装(制服や靴下)や頭髪についてチェックしていますが、方法については今回のアンケートで改善の要望がありましたので、検討したいと思います。なお、月1回の身だしなみ検査以外に、朝の会で風紀委員会による身だしなみチェックを実施しています。名札や爪の長さなど基本的な項目についてチェックしています。学校としてはエチケットの範囲と考えていますので、ご理解ください。

(宿題に関する要望)

- ドリルテストなど、定期テストをすることにより、期末テストの時に、少しでもテスト勉強がラクになるように努めていただいていると思いますが、期末テストや中間テストのテスト期間中に、ワークの宿題が何十ページも出る教科があります。テスト勉強を兼ねているのかもしれませんが、一気に何十ページもするのは大変そうです。毎週2回ほどある演習や英ノート、200字などを一回省いて、「ワークを〇〇ページまでし
てきてください。」などのような宿題の出し方をしていただけると、ありがたいです。そのようにして、何度かに分けて宿題として出していただくと助かります。

(学校の回答)

◎ 年度当初の授業の「国語学習のしかた」でも説明していますが、ワークは授業の進度に沿って進めるように伝えていきます。決して、テスト期間になって一気に何十ページも宿題で出しているわけではありませ

ん。授業の空き時間でもさせていますし、長期休業中の宿題にもしています。授業においてもテスト期間に入る前から、ずっとワークをためないように指導しています。きちんと計画的に進めていたら、無理のない量のテスト勉強であると考えています。そして、どれだけワークに取り組めたかを点検、評価しています。実際に、テスト期間にはすでにワークを終えている生徒が何人もいます。今後もなお一層、計画的にワークを進められるように指導していきたいと思います。

(生徒指導面に関する要望)

- 友だちとのやりとりで、トラブルがあった時、きちんと双方の話を聞いて、事実を確認した上で、指導していただきたいです。
- 下校のバス停でのバス待ち中の態度のことで注意をされたと聞きました。その際、先生は子ども達にどうしてそのような事をしたか理由を聞いてもらっているのか心配になりました。時には急いでバス停に行ったのにバスが来ないとか、部活で疲れていてなど理由があるようでした。すみません、ちょっと注意をされたと聞いたので確認をと思い書かせて頂きました。

(学校の回答)

- ◎ 生徒自身が十分話を聞いてもらえていないと感じたのであれば、教員の対応が不十分だったと言えます。生徒指導において、対象生徒からしっかりと話を聞き取り、それを基に指導を進めることは基本だと考えています。教員間でも、指導の経緯において再度聞き取りの大切さを確認します。

(警報発令時の連絡に関する要望)

- 集団宿泊研修の際に、警報や土砂災害警戒情報が、発令されていたにもかかわらず、子ども達の情報が何もなかった。前日も大雨だったが、どういう状況なのかも、全くわからなかった。保護者は、心配しているので、何らかの発信をするべきだと思う。
- 警報や避難勧告が出ている中では、子どもたちの命を預かっているという意識を持って、対応をお願いしたいです。

(学校の回答)

- ◎ 集団宿泊研修中に警報等が出ていたにもかかわらず、学校からの連絡が十分でなかったため、保護者の皆様にご心配をおかけしましたことお詫びします。校外活動中の警報発令に伴う保護者連絡について見直しを行い対応していきます。

(ホームページに関する要望)

- ホームページをもっと充実させてほしいです。部活動のタブを開いても何も掲載されていないです。

(学校の回答)

- ◎ ご指摘ありがとうございました。部活動の予定や大会の結果など掲載していけるように努力します。

(振替休業に関する要望)

- 修学旅行など宿泊を伴う行事の振替休業日は実施前の月曜日ではなく実施後の月曜日にした方がよいのではないのでしょうか。今年度は修学旅行の翌日が部活動、翌日からは学校とかなりハードでした。実施前の月曜日が休みでも親は仕事のため準備等ができないので、来年は振替休業日を変えるか翌日は完全に部活は休みなど配慮してほしいです。

(学校の回答)

- ◎ 近年の規則の変更により、土曜日の振替は、前の週に取ることに変更されています。部活動の実施や体調管理については、配慮していきます。

(部活動に関する要望)

- 全員部活を求めるのであれば、部活数を増やしてほしい。文化部が少なすぎる。運動の苦手な子の部活動や、運動部では陸上や卓球、ゆる部などを増やしてほしい。
- 部活動に関して、土日祝日にやる事が多く、平日の疲れが取れないままでまた次の週が始まるという感じ。個人的にも休日の家族の触れ合う機会が減りますし、先生も家庭にかなり負担が大きいと思います。

(学校の回答)

- ◎ 部活動については、大きな変革期を迎えており、今までは教員がボランティアで行っていたことを地域にお願いするなどの方向性で検討が進んでいます。すぐに地域に移行することは困難ですが、早ければ今年度中に、新たな取組が紹介できると思います。

(保健室利用に関する要望)

- 保健室で休めるのは1時間だけだと聞きました。肉体的にもですが、精神的に辛い時もあると思います。もう少し配慮してほしいと思います。

(学校の回答)

- ◎ 保健室で休めるのは1時間という生徒に寄り添わず、画一的な冷たい対応ととられてしまうかもしれません。対応が十分でなかったかもしれません。

保健室は、健康相談、保健相談、救急処置、その他の保健に関する措置を行います。悩みを持つ生徒は誰も自分の悩みを丁寧に聞いてほしいと願っています。しかしながら、感染症も流行しており、体調不良でベッドで静養する生徒も次々やってきます。予期せぬけがで来室する生徒もいます。また、なんとなく落ち着くからという理由で来室する生徒もいます。

生徒一人一人に寄り添っていくためには、ある程度の時間を決めて対応することが、生徒を大切にすることだと考えます。保健室での相談時間や対応は短いかもしれませんが、声掛けや見守りを行っています。今回の意見は貴重なご意見だと感じております。ありがとうございました。

(給食に関する要望)

- 給食時間が短すぎると思います。生徒によって食べられる量も時間も違います。改善すべきだと思います。

(学校の回答)

- ◎ 4時間目終了から食器を片付けるまで35分あります。授業もほぼ定時に終わっています。4時間目が移動教室の日もありますが、授業場所に給食着を持参するなど準備時間を短縮する工夫をしていますが、22学期も準備を早くして、食べる時間を十分確保できるようにしたいと思います。ご指摘のように食べられる量や時間には個人差があります。しかし、現状では嫌いな物を残すために、時間ギリギリまでゆっくり食べている生徒もいます。残飯を減らすためにも、苦手な物は自己申告させ、量を減らすなどの配慮をしていますが、それでも残飯が出ます。給食は栄養バランスをしっかりと考えて作られています。限られた予算

の中で工夫を凝らして提供していただいております。学校では給食を通して食育指導を行っており、嫌いなものでも、少しは摂取させる指導をしています。ご理解よろしく申し上げます。

(その他)

- 校歌絶叫を行う明確な理由(生徒にとってプラスになること)を知りたいです。せっかく綺麗なメロディーと詩のある内子中学校校歌をもっと美しい形で生徒たちの胸に刻んであげたいものです。内子中学校校歌が、高校進学、大学進学、また社会人となった時に、子ども達にとって、いつでも立ち返ることの出来る、そして時にはそっと背中を押してくれる暖かいものであってほしいと願います。

(学校の回答)

- ◎ 校歌絶叫は以前体育大会で行っていたものですが、コロナの影響でここ最近は行っていませんでした。今回は久しぶりに行うこととしました。生徒に伝えても反対がありませんでしたが、校歌絶叫が苦でつらい生徒がいるのなら、「大きな声で校歌斉唱」ということも考える余地があると思います。2学期にもう一度生徒に確認したいと思います。

- 声が小さくて聞き取りづらい先生がおられました。教室の後ろまで届くような声で授業をお願いします。

(学校の回答)

- ◎ ご指摘のあった件は教員間で確認し、改善に努めます。

- 中学生らしい、内子中生らしいとよく見聞きますが、具体的にどのような姿を求められているのか具体的に示してほしい。

(学校の回答)

- ◎ 学校長がグランドデザイン示しています「目標に挑戦する生徒」「周りに感謝する生徒」「故郷を誇りに思う生徒」が、本校が目指す内子中生です。今後とも本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

- 地区懇談会で1年生の様子を話していただきましたが、「試験の重み」を分かっていないという評価がありました。入学して3ヶ月での初めての定期テストです。そこは、学校の先生が意識付けて行くことのように思います。「幼い」といった表現についても、もう少し伝え方の工夫があったと思います。

(学校の回答)

- ◎ 定期テストについては、教師から部活動が中止になる意味を説明したり、学習委員会が中心となって勉強時間を調査したりして意識づけに取り組みましたが、十分ではなかったと思います。今後も続けていきます。次に「幼い」ということは、友達間のトラブルに発展したことの原因が詳しくは言えませんが、小学生で起こるようなことがきっかけとなっていました。そういう意味です。説明不足なところもありましたので、今後気をつけたいと思います。

- タブレットの活用について 新型コロナや他の感染症の時だけではなく、その他様々な理由で家庭学習が必要な時はタブレットによる家庭学習(リモート学習)を認めてほしい。

(学校の回答)

◎ 1学期は感染症への対応の一環として、希望者にはタブレットを使った、リモート学習を実施しました。また、様々な理由で家庭学習を行っている生徒にも、希望者には期間を決めてリモート学習を実施しました。本校では期間を決めてリモート学習に取り組む中で、学校復帰のきっかけになればと考えております。